



こさがわちょう

第119号

平成26年10月21日

# 議会だより

編集発行

和歌山県

古座川町議会

TEL 0735-72-3410

FAX 0735-72-1858



企業との地域交流（小川瑞庄）

## 平成26年9月定例会（9月9日～25日）

平成25年度決算認定、健全化判断比率の報告 …… 2～4ページ

平成26年度補正予算 …… 5～6ページ

一般質問に4議員 …… 7～11ページ

意見書、編集委員会より …… 12ページ

# 25年度決算・26年度補正予算等を審議

9月定例会は、9月9日から25日までの17日間開催しました。

平成25年度一般会計及び、各特別会計の決算が提出され、慎重に審議した結果、どの会計も正しい運営がされているものと認定しました。また執行部より26年度補正予算6件、条例関係3件、人事案件1件、報告1件、計11件が提出され、議員からは意見書1件を提出し、いずれも原案のとおり可決しました。

審議した議案のうち、25年度決算・26年度補正予算の質疑応答や主な議案について要約して掲載しています。

## 一般会計決算 歳出

### 39億224万円

## 決算審議

## 歳入

問

会計全般の不能欠損処理について、どこまで調査をして不能欠損扱いにしたのか。

答

銀行の預貯金調査などもおこない、回収機構へ回しているが、差押まではおこなっていない。

問

平成25年度決算の町長自身の総括は。

答

25年度が39億、26年度は川口の大型事業などで40億を超える。27年度以降は、庁舎の改修、町道の整備、教育レベルを上げるなどおこない、過去3年間の決算平均ベースの横



池野山環境衛生センター

問 這いと思っている。

障害者控除対象者証

明書発行者数が減少している理由は、広報不足ではないのか。

## 歳出 総務費

答

財政課と協議しながら、確定申告時などに対象者に促していく。

問

地籍調査委託料の一筆調査地区は。

答

鶴川地区の4kmを実施した。

問

ぼたん荘の経営状況は。

答

840万円の委託料を含めて、約95万円の黒字経営となっている。また、町内雇用18名、業者からの仕入れが約1600万円となっている。経済効果も出ている。

## 民生費

問

健康調査訪問事業委託料の訪問件数が減少している理由は。

答

今年度から、がん検診2000円や特定健診5000円を無料にし、

答

24年度は、前年の台風被害による健康調査を主におこない、25年度は被災された方がたの中で、精神状態とか高齢者などに絞込みをおこなった結果である。

問

子宮頸がんワクチン接種による副作用の該当者の状況は。

答

当町では、副作用の報告は無い。

問

妊婦健康調査助成金の不用額が多い理由は。

答

対象者は、県外の医療機関で受診した方への償還金で、県外検診が少なかったのが理由である。

問

健康検診などの受診者が減少しているが対策は。

答



鳥獣害防護柵（潤野）

農林水産業費

啓発活動もおこなっている。

問

急傾斜事業負担金で、崖崩れ対策が必要なカ所への対策は。

答

小規模崖崩れ対策事業の対象から外れてい

る所が多いが、危険なカ所もある。

問

この事業の対象カ所に認定され、安全にその地区で暮らせるよう要綱見直しの要望活動を、国・県へおこないたい。

有害駆除で、被害が増えている猿についても、生息個体調査をす



平井ヘリポート

答 必要があるのでは。捕獲しているが、被害件数が増加しているので、県に調査を要望したい。

問 工事関係の不用額が多いが、町内業者育成などの考えは。

答 最低制限価格の底上げなどをおこない、育成に取り組んでいる。

平成25年度 一般会計決算					
歳入 45億5,484万円		歳出 39億224万円		6億5,260万円の黒字	
経常収支比率	75.5% (昨年度は77.1%)				
地方債現在高(借金)	33億659万円 (昨年度より8,944万円の増)				
基金合計(貯金)	34億4,484万円 (昨年度より6億8,475万円の増 5月31日現在)				
歳入・歳出の主なもの (単位：万円)					
歳入	金額	対前年度比	歳出	金額	対前年度比
町税	1億9,666	529	人件費	4億1,988	△ 1,107
地方譲与税	3,604	△ 196	物件費	4億5,813	△ 199
地方消費税交付金	2,489	△ 21	維持補修費	5,722	338
地方交付税	19億7,102	△ 1,109	扶助費	1億5,962	△ 533
国庫支出金	3億5,824	△ 6,588	補助費等	4億2,643	△ 99
県支出金	4億8,591	2億9,921	公債費	3億8,442	△ 1,972
繰入金	7,432	3,525	積立金	7億7,238	3億6,787
繰越金	8億5,658	5,388	繰出金	3億681	△ 245
諸収入	6,250	△ 1億3,398	普通建設事業費	8億4,665	5億472
町債	4億3,097	2億251	災害復旧事業費	6,907	△ 3億1,518

## 平成25年度におこなわれた主な事業

### ◎ 交通通信施策

- ・ ふるさとバスの利用客数は本川線、小川線を合わせて17,433人。
- ・ 町道の整備は下露小川1号線、直見和田地線、岩井谷1号線、妙応寺線等。

### ◎ 保健・医療・福祉施策

- ・ 予防接種は子宮頸がんワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチンの3種類が定期予防接種に追加され実施するとともに、75歳以上の方を対象に高齢者肺炎球菌ワクチン、全国的に流行した風疹に対しての予防接種費用を助成。
- ・ 要援護者見守り事業によるスタッフの戸別訪問。
- ・ 子育て支援事業として子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査とアンケート調査。

### ◎ 生活環境施策

- ・ 串本町と共同でおこなっている、し尿処理施設として池野山環境衛生センターが完成。
- ・ 洪水や津波対策として高池上部・下部に避難施設を整備、11カ所にLED避難誘導灯を設置。
- ・ 平井地区にヘリポートを設置。

### ◎ 産業の振興施策

- ・ 鳥獣害対策として4地区に鳥獣害防護柵を設置。
- ・ 観光施策として虫喰岩に物産販売所とトイレ、平井地区にトイレを新築。

### ◎ 教育文化施策

- ・ 学校図書環境整備として、図書データを電子化、各学校間で図書データが共有できるようにした。
- ・ 統廃合等によって廃校になってしまった学校を含め12校の校歌をCD・DVD化。
- ・ いじめ防止のため古座川町いじめ防止基本方針を策定。
- ・ 子ども議会の開催。
- ・ 古座川町史編纂事業の完成を記念して、完成記念シンポジウムを開催。

## 健全化判断比率の報告

### 【健全化判断比率】

(単位：%)

	①実質赤字比率	②連結実質赤字比率	③実質公債費比率	④将来負担比率
古座川町	—	—	7.2	—
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0
財政再生基準	20.0	30.0	35.0	

※表中の「—」は、赤字額がなく、比率として表われないことを示します。

健全化判断比率のいずれかが早期健全化基準以上の場合、財政健全化計画等を策定し、計画的に健全化に取り組まなければなりません。

なお、古座川町の比率は、次表のとおりで、赤字額もなく、実質公債費比率も基準を下回っており、健全な財政運営をおこなっていることを示しています。

一般会計補正予算(第4号)

鳥獣食肉処理加工施設新設工事

2265万円などを追加

総務費

問

庁舎改築構想作成支援業務の内容は。

答

福祉部門が来年度、川口に移るので、その後の機構改革も現在検討していて、現庁舎を住民が利用しやすい様に改築するものである。

問

庁舎裏の進入路舗装工事をする理由は。

答

庁舎裏に倉庫があり、車を乗り入れる際に未舗装であるため、近所の家に小石をはねたり迷惑をかけているので、今回舗装するものである。

問

ぼたん荘のゲートボール場を芝生化すると



芝生化されるゲートボール場

望があった子供達が遊べる遊具を置く計画はないのか。

答

芝生化しテーブル等を置き、皆さんが多目

的に使え憩える場所にしたい。  
今のところ、遊具等については考えていない。

農林水産業費

問

鳥獣食肉処理施設新設工事が当初の3700万円に2265万円増額との事だが、その理由は。

答

鳥獣食肉処理施設について国が年末ぐらいに、管理基準や運用基準のガイドラインを出す予定であり、日本ジビエ振興協議会の方からの指導を受け、それに対応した施設にしたためである。

問

ぼたん荘に薪ストーブを設置する目的は。また、薪の購入先は決まっているのか。

答

県が防災を兼ねた避難施設に再生エネルギーを使う事業に対して、交付金を出すもので、ぼたん荘は避難所の位



補修予定の洞尾橋

消防費

問

消防団員の退職が進んでいるが、新たな団員募集の考えは。

答

今年5名退職され、もう1名が退職予定と聞いている。幹部会等で加入促進の協議をして頂く。

問

「山の恵み」活用事業の内容は。

答

古座川にんにく生産組合への補助で、菌床シイタケの廃棄になったものを堆肥化するための施設を相瀬につく

一般会計補正予算（第4号）		歳出の主なもの
総務費		
	庁舎改築構想作成支援業務	108万円
	庁舎裏進入路舗装工事	100万円
	ぼたん荘附属施設改修工事（ゲートボール場を芝生化）	600万円
衛生費		
	予防接種委託料（乳幼児の水痘、高齢者の肺炎球菌ワクチン）	120万円
農林水産業費		
	鳥獣食肉処理加工施設新設工事（増額）	2,265万円
	「山の恵み」活用事業補助金（にんにく生産組合堆肥場）	400万円
	薪ストーブ設置工事（ぼたん荘に2基設置・薪割り機を含む）	895万円
土木費		
	橋梁維持補修実施設計委託料（洞尾橋、金山橋）	1,000万円
消防費		
	避難施設（旧愛宕寮）改修工事（車道用のスロープ）	1,500万円



車道用スロープに改修される旧愛宕寮玄関（高池）

**条例制定**

平成24年8月に成立した子ども・子育て支援関連法では、民間事業者が市町村の認定や基準に従って施設の運営をおこなう場合、財政支援が得られるので、その基準を定めるため3つの条例が制定された。

古座川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

特定教育・保育施設とは原則定員20名以上で新制度に移行する私立の幼稚園、認可保育所、認定子ども園。

特定地域型保育事業とは、定員が19名以下で主として3歳児未満の乳幼児を対象とした規模が小さな保育事業で、定員や場所により4つに分類されている。

古座川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

家庭的保育事業等とは定員が1名から19名以下の規模で、主として3歳児未満の乳幼児を対象とした事業。家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問保育事業、事業所内保育事業をいう。

古座川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

放課後児童健全育成事業とは放課後児童クラブや学童保育事業のこと。

## 一般質問

# みんなの願いを町政に

4議員の質問事項は、次のとおりです

谷 久司 議員（8ページ）  
・地籍調査完了後の方向について

尾崎やよい 議員（9ページ）  
・南紀熊野ジオパークについて

坂本 卓巳 議員（10ページ）  
・防災対策の強化について

日下 博規 議員（11ページ）  
・空き家対策と定住促進について  
・福祉モノレールについて

### 一般質問とは

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等について説明を求め所信をただす、議員固有の権能として許されているものです。

質問したい議員は、町の抱える課題についてあらかじめ質問内容を通告しておきます。

質問形式は古座川町議会では、質問回数が3回までと制限されている代わりに時間制限が無い、という方式と、一問一答で質問回数に制限はないけれども時間が70分と制限されている2つの方式があり、そのどちらかを議員が選ぶことができます。

議案に対する質疑は議題外にわたったり、自分の意見を言うことはできませんが、一般質問は提案したり自分の意見を言うことができます。

なお、議会だよりの原稿は、一人約1260字以内にまとめることになっているため、全ての質問内容が掲載されているとは限りません。

# 官有地の整理は

谷 久司



私は、今高池地区下部区で実施されている地籍調査に関連して、以下の5項目について町の考え方を聞きします。

なお、今回の地籍調査では、民有地は言うに及ばず、公衆用道路や無番地の官有地(里道・水路・池・井戸)等の境界が画定されませんが、この官地は平成17年に国より古座川町に移譲されたものであり、この官地の整理についてもお聞きします。

町長 正までの所要時間は如何ほどかかるのですか。

町長 本年度より実施している高池下部地区字江崎の地籍調査については、土地所有者や地元の方のご協力を頂き、現在、土地境界立合い業務について完了したところですが、今後の業務については、境界杭の実施測量となります。

町長 公図訂正までの所要期間につきましては、平成27年度に実施測量したデータを基に地図作成業務を実施し完成後に各地権者による閲覧、認証をおこない、平成28年度末に法務局に提出する予定でございます。

町長 公図及び登記簿の書き換え業務を実施し完成となりますので、1

地区あたり境界立合いから公図訂正まで3年かかることとなります。

町長 公図が訂正され所有区分や面積が明確になり所有者も安心すると思いますが、その後の活用については如何考えていますか。

町長 地籍調査の本来の効果は、個人財産の保全と管理に繋がるものであると考えられます。

町長 一般的に地籍調査後については、隣接地とのトラブル防止、土地取引の円滑化、災害復旧事業や公共事業の推進等の効果があげられます。

町長 本地籍調査は現存する「字切図」の訂正であり、登記簿謄本の面積まで出来ると聞きますが

町長 すが相違ありませんか。

町長 地籍調査業務については、土地所有者、土地境界、地目、面積等について調査を実施し、現況の土地利用形態に基づき地目の変更をおこないます。

町長 現地調査により画定した境界測量をおこなったので、面積についても訂正をおこないます。

町長 ただし、相続及び売買等により登記簿と現況所有者に相違がある場合については、所有者の変更をおこなうことはできません。

町長 現在の町道等に区有地や民有地が使用されている現状が見受けられますが、この処理はどうする考えですか。

町長 段階において民有地等が町道となり、町道敷としての分筆がおこなわれていない町道敷部分については、公衆用道路として分筆だけおこないます。

町長 その後、地籍調査完了後、所有者のご理解とご協力を得ながら、出来る力所から公衆用道路については、基本寄付とし随時町道へと名義変更を実施したいと考えてございます。

町長 調査終了後、官地(里道・水路・池・井戸)の不用物件が判明した場合、調査完了後

町長 その不用物件について払下げする予定は有るのですか。

町長 町に権限のある法定外公共物の払下げ申請については、現況の利用状況等の調査をおこない、公共での利用やそれらに準じた公共性の高い利用行為がおこなわれていないかなど検討し、問題がないと判断した場合、有償による払下げに応じてまいります。

町長 (この文章は本人がまとめたものです)



地籍調査ピン打ち (高池下部)



## 南紀熊野ジオパーク

## 認定の周知を町民に

尾崎やよい



しかし、町民の中には「ジオパークってなんや」と思う人がいるのではないかな。

## 町長

10月発行の「広報こざがわ」138号で

去る8月28日「南紀熊野」が日本ジオパークの認定を受けた。この喜びを町民の方がたに広く伝えることを具体的に考えているか。

南紀熊野ジオパーク推進協議会会長の仁坂知事は「大変うれしい。世界にもアピールし、早期の世界ジオパーク認定に取り組んでいく」とコメントした。

また、神保圭志南紀熊野ジオガイドの会長は「おもてなしに努めるとともに、その魅力を地元の人に伝えていきたい」と意気込みを示している。

しかし、町民の中には「ジオパークってなんや」と思う人がいるのではないかな。同様に、県環境生活部長と自然環境室長が「南紀熊野ジオパーク構想計画」の説明で来町。

平成25年2月6日に南紀熊野ジオパーク推進協議会設立総会がおこなわれた。翌26年3月23日には那智勝浦町でジオパークフェスタの開催。4月18日に平成26年度総会。

7月4日から6日、ジオパーク認定審査委員会

の現地審査の結果、古座川町はすべてで高い評価を得た。

古座川町は、県や同協議会が主催する「日本ジオパーク」認定に向けての各種の催しにすべて参加し協力。

取り組みのスタートとして平成25年2月26日、同協議会学術委員

の後誠介氏を講師に「ジオパークを考えよう」という題で講演会を開催。

ジオパーク関連の取り組みとして、平成25年2月から平成26年度末までの間に29回の関連イベントを実施している。ぼたん荘や「やどやの会」主催でも数々のイベントを実施した。学校教育では、ジオパークに関する学習会を現地調査も含め延べ9回実施している。

喜ばしいことに、この認定に伴い、昨年3月議会の一一般質問で町文化財への指定を求めた「真砂の元船着場」が、周辺のジオサイト（見どころ）として位置づけられた。

大地のすべてを楽しめるジオパークを、地元の住民の方がたの笑顔でいっぱいになりたい。4年おきの見直

の再審査にも堂々と胸を張って臨もう。古座川町として、今後どのように活用していくのか、具体的な計画はあるのか。

町内の3つの道の駅と「道の駅橋杭岩」の他に全国で4カ所、計8カ所の道の駅と連携

して観光交流に取り組んでいきたい。今、実施している「ジオスタンプラリー」と4月・8月の「守り犬」のイベントも継続していきたい。

（この文章は本人がまとめたものです）



一枚岩守り犬夏祭り

# 防災対策の強化を

坂本 卓巳



で、慎重に検討のうえ解除している。

### 質問

台風11号による避難勧告で、古座川町の避難状況は、15カ所の避難施設で79名の避難者がいたと聞いている。

行政の対応は充分であったのか。

### 町長

今年8月の台風11号において避難準備情報、その後の避難勧告が早く出されたように思うが、紀伊半島大水害後の避難準備情報、その後の勧告、指示を出す基準及び解除の基準はどうなっているのか。

### 町長

避難勧告等の基準については、古座川町地域防災計画に発令基準を記載しており、それを元に運用している。

現場の状況報告等、様ざまな情報を元に慎重に検討し、明るい時点で早い時期に発令をおこなっている。

解除に関しても同様

ドで生活している人のために、ダンボールで作れる簡易ベッドを用意する事は出来ないのか。

### 町長

テレビについては避難所すべてに設置はしていない、すべてが、町の施設でないため購入するとすると管理面等で課題が生じるため、すべての避難所へのテレビの設置は考えていない。

ラジオについては集会所等に防災ラジオを配備している。

### 質問

簡易ベッド、エアーマット、今年度ダンボール間仕切りを購入し利用出来る体制にしている。

### 質問

台風11号による避難では、古座中学校校舎に避難されたようで、学校の先生だけでは対応

### 町長

土砂災害特別警戒区域内の避難施設については、今年度、地域防災計画の見直しで再検

討をおこないたい。

### 質問

太陽光パネル付避難誘導灯は、町内に11カ所整備されているが、高池下部の避難路入口付近にも、停電した時のために蓄電池内蔵型のLED防犯灯をつける事を考えていないか。

### 町長

職員配備については現状の人員では非常に厳しく町内主要避難所に待機が精一杯である。各学校への避難についても教職員の方がたに協力をいただいている。

自主防災組織は、地域内で非常に重要な役割を担っていただいている。

強制はせず、自主的な協力活動をお願いしたい。

### 質問

土砂災害ハザードマップによると、土砂災害特別警戒区域内に入っている避難施設がある。

### 町長

今後どのようにするのか。

### 町長

土砂災害特別警戒区域内の避難施設については、今年度、地域防災計画の見直しで再検



避難施設に配備されている防災ラジオ

も設置を検討している。

### 質問

災害時要援護者の方の避難場所についてはどのように考えているのか、二次避難施設に避難するよう呼びかけをするのか。

### 総務課長

要援護者については高瀬会と協定を結んでおり、とくに必要なのは高瀬会の方へ送迎している。

### 町長

避難路入口のLED照明設置予定については、昨年度設置したように補助制度を利用し、その他の避難路にとめたものです

# 住宅相談窓口を つくれ

目下 博規



福祉モノレール（奥多摩町）

これは以前、瀧口議長が一般質問で取り上げたもので、その後総務委員会の調査事項として、先進地視察に行つて

きた。訪れたのは、東京都奥多摩町と檜原村。両町村とも急峻な山肌

## 福祉モノレールで 快適な生活を

で、地形の関係上町道から道をつけられない家や、階段の家が多くそんなところにモノレールを設置していた。

外出したり、荷物を運んだりするとき、大変な思いをしている人達のために、ぜひこの福祉モノレールが必要

ら。この文章は本人がまとめたものです

ある町民の方から「町内に住みたいと思つて空き家を探した。60カ所以上当たつたが貸してもらえない、または売ってもらえない空

き家が増えて、もういいよ申本で探そうかと思つていたところ、今のところを紹介してくれる人がいて、やつと落ち着くことができた」という話を聞いた。

古座川町がこうした点にもっと力を入れていけば、先ほどの方のような苦労される町民や、職員のうち28名もが町外に住んでいる状態など、生まれていな

町内には288戸の空き家があり、そのうち売買・貸与が見込まれる空き家は15戸で、すぐに入居できる空き家は7戸。それ以外は

大規模な修繕が必要である。質問 これらの情報を活かすためにも庁舎内に住宅相談窓口をつくる必要がある。相談に訪れた住民の方の希望を聞き、それにできるだけだけ応えられよう職員も

町の補助事業を活用していた。県に補助の働きかけをすべきではないか。町長 現状では、県を含め県内市町村で具体的な事業化の動きはない。今後の動向を見ながら適切な時期に対応していきたい。



いだろう。今回は予算を必要としない2点に絞つて質問したい。町内の空き家・空き地情報をきちんとつかんでいるか。持ち主と現住所、状態など役場であればこそつかむことのできる情報だ。

町長 産業振興課で空き家の状況調査をおこなつた。町内には288戸の空き家があり、そのうち売買・貸与が見込まれる空き家は15戸で、すぐに入居できる空き家は7戸。それ以外は

だと思ふが。町長 導入できないか現地調査も含め検討したが、初期投資として多額の経費がかかること、安全管理面や維持経費など多くの課題があり、現実的には導入は困難だと考えている。

# 陳情・意見書

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情は委員長報告後、全員異議無く採択し、意見書を9月26日付けで、国の関係機関に送付しました。

## ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書(要約)

わが国において、B型・C型ウイルス性肝炎が350万人以上とされるほど蔓延しているのは、国の責めに帰すべき事由によるものであることは、肝炎対策基本法などによって明確にされている。ウイルス性肝炎患者

に対しては、現在、肝炎治療特別促進事業として実施されているが、対象となる医療が限定されているため、助成の対象から外れている患者が相当数にのぼる。また、肝硬変を中心とする肝疾患も障害者



手帳の対象とされているものの、医学上の認定基準が厳しいため亡くなる直前でないと認定されないなど、現在の制度は肝炎患者に対する生活支援の実効性を発揮していない。

よって本議会は次の事項を実現するよう強く要望する。

1 ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。

2 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること。

### 【提出先】

内閣総理大臣  
厚生労働大臣

## 議会日誌

《6月》  
30日

議会だより編集委員会

《7月》  
7日

和歌山県町村議会議

長会理事会(和歌山市)

議会だより編集委員

14日

議会だより編集委員

14・15日

紀南環境広域施設組合視察(岐阜市)

15日

議会だより編集委員

16・18日

全国森林環境税創設促進議員連盟定期総会(大分県日田市)

21日

大規模土砂災害対策シンポジウム(那智勝浦町)

28日

総務常任委員会  
和歌山県後期高齢者医療広域連合議会定例会(和歌山市)

29日

県町村議会議長会から県知事に要望書提出(和歌山市)

31日

高速自動車道紀南延長促進協議会委員会及び総会(新宮市)  
湯川、田原間道路建設促進協議会から県要

望(和歌山市)

《8月》  
1・2日

近畿自動車道紀勢線すさみ、那智勝浦間建設促進協議会陳情(東京都)

6日

東牟婁郡議長会(那智勝浦町)

8日

和歌山県町村議会全議員研修会(かつらぎ町)

26日

国道371号改良促進委員会総会及び要望(和歌山市)

《9月》  
2日

議会運営委員会

8日

議会運営委員会  
9・25日  
第3回定例会

11日

産業建設常任委員会

12日

総務常任委員会

16日

議会改革特別委員会  
29日  
議会だより編集委員会

## 編集委員会より

紀伊半島大水害から3年、和歌山県は昨年9月から大水害の被害を教訓に、51時間先までの降水量を予測出来る独自の気象予測システムの本格運用を始め、運用により市町村が避難情報を早く出せるようになってきている。

9月20日に和歌山市のビック愛大ホールにおいて、和歌山大学防災教育センター主催による「地域を守り抜く力、災害から命を守る防災教育」の講演会があった。

防災意識を変えるには、自然理解、想像力、対応能力を学ぶ事で避難行動が可能になり、自分の住んでいる場所の歴史を知りリアルな防災訓練が重要、「感動・講座・体験」によって自らの危険をイメージして行動出来るようになる」との講演内容であった。

早目の避難をお願いしたい。  
(坂本卓巳)